

阿蘇草原再生レポート

活動報告書2009



阿蘇草原再生協議会

目次

はじめに	p1
I 活動結果報告	p2
1 平成20年～21年度 阿蘇草原再生の取り組み状況	p2
○協議会の取り組みによる成果	p4
○活動報告(1) 様々な形で牧野の利用と維持管理を続ける	p6
○活動報告(2) 動植物でにぎわう草原を再生する	p17
○活動報告(3) 草原に理解、愛着を持つ人を増やす	p22
○活動報告(4) 野草資源を活用する	p38
○活動報告(5) 草原と結びついた観光を進める	p42
2 阿蘇の草原をフィールドとした研究者の活動	p44
3 阿蘇草原のいとなみと協議会の1年(平成21年度)	p47
II 阿蘇草原再生協議会の活動	p48
(1)組織	
(2)阿蘇草原再生全体構想	
(3)「活動計画」、「活動結果報告」のしくみ	
(4)活動年表	
【参考】阿蘇草原再生協議会設置要項	
阿蘇草原再生協議会運営細則	
阿蘇草原再生募金規約	
阿蘇草原再生募金委員会委員会設置・運営規則	
協議会構成員名簿	

コラム

1.協議会構成員の牧野を紹介します	p16
2.阿蘇草原は九州の水がめ!	p21
3.草原環境学習アンケートを実施しました	p28
4.阿蘇草原再生募金 スタート!	p41
5.阿蘇草原再生ロゴマーク 決定	p41

表紙写真

①	②	③	①ヒゴタイ	②阿蘇野の花観察会 (No. 10 阿蘇花野再生プロジェクト)
④		⑤	③阿蘇神社の湧水	
			④野草紙入りハガキの作成 (No. 13 「野草紙を作ろう」プロジェクト)	
⑥	⑦	⑧	⑤体験野焼き (No. 24 草原について学ぼう!)	
			⑥機械による採草風景 (No. 26 草本系バイオマスのエネルギー利活用システム実験事業)	
			⑦草原での環境学習風景 (No. 15 出前講座)	⑧池ノ窪牧野の放牧風景

はじめに

世界最大級のカルデラ地形に広がる雄大で優美な阿蘇の草原。そこには、農業・畜産業との密接な関わりの中で、採草、放牧、野焼きなど人々の営みによって生まれ、引き継がれてきたたくさんの価値があります。

草原特有の動植物が生息・生育する生物多様性の宝庫であること、年間 1,900 万人もの観光客を魅了する草原や牛馬の放牧風景、そして草原をとおして人々の暮らしや動植物の生態、火山活動等について学び、体感する環境学習の場としても大切な役割を担っています。また、阿蘇の草原は 6 本の一級河川の源流域にあたり、雨水が地下浸透しやすい草原環境が涵養する豊富な地下水は、熊本市民をはじめ九州中・北部の人々の暮らしにうるおいを与えてくれます。

しかし、様々な恵みをもたらす阿蘇の草原が今、危機に瀕しています。生活様式の変化や畜産業の低迷などにより、近年、面積の減少や荒廃が目立ってきました。千年以上もの永きにわたり、先人の知恵によって守り継がれてきた豊かな自然が姿を失いつつあるのです。

このような中、かけがえのない草原を未来に引き継ぐため、2005 年 12 月に「阿蘇草原再生協議会」が設立されました。協議会では、2007 年 3 月に策定された「阿蘇草原再生全体構想」に基づき、現在、様々な取り組みを進めています。

設立 5 年目を迎えようとする本年（2010 年）、宮崎県で発生した口蹄疫問題は、畜産農家に不安と心労を与え、観光業をはじめとする地元産業にも暗い影を落としました。牛馬のいない草原風景、草原への立入制限などを目の当たりにしたとき、多くの人たちが草原と暮らしとの密接な関係性、重要性を再認識したのではないのでしょうか。

本レポートでは、協議会構成員が「草原再生」という目標に向けて取り組んだ活動の成果をまとめています。本レポートをとおして、1 人でも多くの方が阿蘇の草原に関心を持ち、再生の取り組みに参加されるとともに、今、阿蘇の草原を支えている牧野組合をはじめとする地域の皆様の自信や誇り、そして活力ある地域社会へとつながることを願っています。

また、今年は国連が定める「国際生物多様性年」であり、「生物多様性条約締約国会議(COP10)」が名古屋市で開催されました。阿蘇の自然豊かな草原における様々な取り組みが、阿蘇だけでなく日本さらには世界へ発信されることを期待します。

阿蘇草原再生協議会

会長 高橋 佳孝

「阿蘇草原再生レポート」の発行について

本レポートは、協議会構成員による草原再生に向けた活動について、前年度 1 年間の活動状況を取りまとめて報告するものです。草原レポートの発行は 2008 年版から始まり、今回が第 2 号となります。

構成員の方々から提出された活動結果報告から、全体の活動状況や全体構想で示した取り組みの進捗等を把握し、それぞれの取り組みのさらなる展開や、草原保全・再生に向けた活動の輪を広げていくために活用していきます。